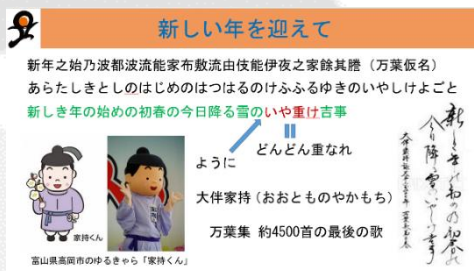


新年あけましておめでとうございます。皆さまにとって、穏やかで実り多い一年となることを祈念いたします。

2025年は、1月に7期生の入学者選抜が実施されるとともに、1期生である6年生が卒業を迎える節目の年となります。教職員一同、これまでの歩みを大切にしながら、生徒のさらなる成長を目指し、一層努力を重ねてまいります。

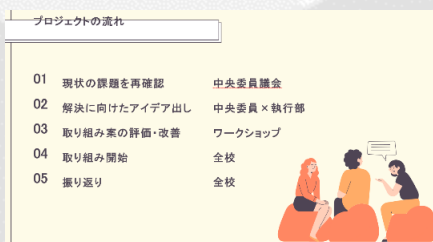
◆朝礼

冬休み明けの1月8日（水）に、朝礼が行われました。



最初に、校長先生の講話がありました。万葉集、大伴家持の和歌を引用し「MOIS 生にとって、今年を素晴らしい年にしましょう」「世界にとって、今年を平和で安全で安心な年にしましょう」と呼びかけました。

また MYP 生の英検 IBA、GTEC の結果にも触れ「MOIS 生の英語力は全国平均を大きく上回るハイレベルなもの。自信を持って、これからも学びを深めてほしい」と励ましの言葉がありました。



続いて、中央委員議会より、全校プロジェクトとして「登下校時のバス内でのマナー改善」が発表されました。このプロジェクトは、昨年12月5日（木）に行われた臨時全校集会を受けて発足し、生徒が主体となって取り組んでいるものです。

1月22日（水）に行われたワークショップでは、生徒自身が課題を考え、話し合いを重ねながら、登下校時のバス内でのマナー向上に向けた具体的な取り組み内容を決定しました。取り組み内容は2月5日（水）の全校集会で発表され、実践がスタートします。

◆MOIS Music Fes (MMF)

12月14日（土）に「MOIS Music Fes (MMF)」が行われました。バンドやピアノ、ダンスなど、放課後や休日の時間を使って練習してきた成果を発揮する場となりました。午後には教員団も参加したスペシャルパフォーマンスが行われ、会場は大盛り上がりでした。次ページにその様子を大々的に掲載しましたので、ぜひご覧ください。

前日準備



本番当日



最高に盛り上げてくれたパフォーマー&スタッフの皆さん!お疲れさまでした!!

◆細田眞由美前教育長講演会

12月14日(土)に、PTPが前さいたま市教育委員会教育長、細田眞由美さんをお招きし、講演会を開催しました。当日は多くの保護者が参加し、熱心に耳を傾けていました。

講演では「こどもの可能性は無限大」をテーマに、教育長就任時の決意、MOIS誕生の秘話、さいたま市の生徒が全国トップレベルの英語力を身につけるまでの道のり、そして「見えないミライを生き抜く子どもたち」への思いを力強く語っていただきました。講演会終了後は、関田校長との対談が行われ、大宮西高校からMOISのこれまでの歩み、教育の未来やMOISの生徒たちの可能性について、さらに深い議論が交わされました。



「What's your 2025 going to look like?」

IB コーディネータ: Brad Semans

The new year holiday is celebrated in many ways around the world. Below there are 4 examples, one of which is not true! Can you guess what country these are from and which is not true?

1. Eating 12 grapes as the clock chimes midnight.
2. Smashing dishes in front of your friends' doors.
3. Pretending to be cats and dogs while running through the park.
4. Carrying an empty suitcase around your neighborhood.

Possible Answers

Not True
Denmark
Spain
Columbia

Did you answer correctly? One tradition that many cultures have is to set new goals for the new year. With that in mind, It is important to recall the Growth Mindset. Dr. Carol Dweck, Stanford University professor, wrote and spoke about the importance of having a Growth Mindset. How? The following are 6 points that are important to having and using it!

- Believing that intelligence can be developed
- Seeing effort as a path to mastery
- Embracing challenges
- Learning from criticism
- Persisting through setbacks
- Finding inspiration in the success of others

To learn more, watch Dr. Dweck talk about her research in [this video](#).

新年は世界中でさまざまな形で祝われます。以下に4つの例を挙げますが、そのうちの1つは真実ではありません!どの国のもので、どれが事実と違うかわかりますか?

正解でしたか?多くの文化が持つ伝統のひとつに、新年に新たな目標を設定するというものがあります。それを念頭に置いて、グロース・マインドセットを思い出すことが重要です。スタンフォード大学教授のキャロル・ドウェック博士は、グロース・マインドセットを持つことの重要性について執筆し、講演しました。どのようにそれを持つのか?グロース・マインドセットを持ち、活用するために重要なポイントは以下の6つです!

- 知性は成長させられると信じること
- 努力は習得への道であると考えること
- チャレンジを受け入れること
- 批判から学ぶこと
- 挫折を乗り越えること
- 他人の成功からインスピレーションを得ること

もっと詳しく知りたい方は、ドウェック博士が自身の研究について語る[ビデオをご覧ください](#)。

Answers:
1. Spain 2. Denmark 3. Not true 4. Columbia

◆各学年より

1年生 「成長が新たな挑戦を生む」

1年生担当：山田 寛之

新しい年を迎え、今年度も残り2か月余りとなりました。1年生にとっては初めてのVM(Virtual MOIS…入学選抜期間中の家庭学習のこと)を有効に活用できるよう、事前に各自で計画を立て、発表しました。ボランティア活動や体験活動、家庭内でのお手伝い、各種コンクールへの応募など、校外だからこそできる学びと挑戦の場を設定できるような計画を練りました。その後、作成した計画や目標をお互いに共有し、よりよい計画に改善していきました。

また、2024年の締めくくりとして、MOISに入学して成長できた点と今後の夢を、一人ひとりが花型のカードに書き込みました。このカードは、入学時に1年生全員で作成した掲示物「出会いの木」に、花が咲くようなかたちで付け足されます。ここで、1年生が書いた成長点をいくつかご紹介いたします。

- ・「MOISに入ってから、積極的にボランティアに参加しようと思うようになった。」
- ・「授業でも授業外でも自分の行動を振り返ることができるようになった。」
- ・「最初は、LAやEIで英語の先生の言っていることが全くわからなかったけど、今はだいたいわかるようになった。」

花型カードが付け足された「出会いの木」は、1年生教室前のワークスペース1に掲示してあります。ご来校された際にぜひご覧ください。



VM計画の発表会



生徒企画のMOIS Music Fesでは、1年生の中からもステージ発表に挑戦する生徒が何人いました。堂々とした演奏・歌唱を披露し、会場を盛り上げていました。



2年生 「役割とチームワークを大切に」

2年生担当：小木 皓平

大宮国祭に向けた準備が少しずつ進んできました。各クラス何をするのかを決め、どの教室を使うのかが決まり、これからは企画の中身を詳細に決めていく段階になります。クラスの中でもチームが分けられ、装飾班やストーリー班といったようなそれぞれの役割を与えられています。LHRの時間は多くないですが、50分をいかに効率よく使うかをリーダー中心にチームで奮起している様子が見られています。40人近い人数でひとつのことを成し遂げようとすると、意見がぶつかり合うことや、うまくいかないことがあると思います。現在もスムーズに進まないチームやクラスもあります。しかしそんな時こそ、それぞれの役割を全うするという責任感をもってやり遂げる気持ちで進め、チームワークを大切に活動を進めてもらいたいと思っています。2年生の教員としても、より良い企画が実施できるように声掛けやサポートをしていきたいと思っています。保護者の皆様にも、温かく見守っていただけると幸いです。



LHRで大宮国祭の企画について話し合う2年生

3年生「3年間の学びから」

3年生担当：山下 紘輝

今年度も残すところあと2か月余りとなりました。今年もよろしくお願いいたします。

年明け学校が始まってすぐに入学選抜が実施されました。受検する後輩のために一生懸命、準備に取り組んでくれました。入学してから約3年が経ち、当時のことを生徒たちに振り返ってもらうと、解けなかった問題を解けるように必死に頑張ったことや、受検当日は緊張のあまり現実逃避をして過ごしていたことなど様々なエピソードを聞くことができました。なかには、今は検査問題を解けない…という生徒もいましたが、子どもたちは、3年間のMOISでの活発な学習活動を通して、着実に力をつけることができた3年間であったと思います。

さて、冬休みが明けてすぐに「さいたま市中学校校長会学力検査」が実施されました。本校では定期的に外部模試が実施され、その都度、振り返りの機会があります。模試受検は、本校での学習活動の成果を測るための一つの指標になります。自身の課題点を振り返り、MOISでの学習にどのように還元することができるのかを考える機会にしてほしいです。また、この時期は、後期課程を迎えるにあたって、入学してきた時からどれくらい自分が学習面で成長することができたのかを振り返る絶好の機会です。ぜひご家庭でも、これまでのお子様自身の成長の過程を振り返っていただくと、学習のモチベーションを高めるよいきっかけになると思います。



冬休みが明けてからの授業の様子です。(左から、言語と文学、EI、個人と社会)

4年生「MYP 総括の3G プロジェクト」

4年生担当：川西 輝

昨年中は大変お世話になりました。今年度も残すところ2か月余りとなりました。何卒宜しくお願い致します。

さて、昨年の12月からは、2月4日(火)の学年発表会に向けて、修学旅行の事後学習としての3G プロジェクトを進めています。東北地方の学習グループごとに探究課題を設定し、成果物を各グループで制作していきます。MYPで学んできた総括として、身近なコミュニティーへ自らの学びを還元し、「人と自然の well-being」を実践していくことが狙いです。成果物のテーマは、①人の心を動かす成果物を制作する②社会課題を解決する教材を制作する このどちらか、もしくはその両方を選んで制作にあたっています。探究課題のトピックとしては「まちづくり」・「複合災害」・「ロボット工学×原発」などが考えられます。東北の地で学んだり、感じたりしたことを、いかに周りに広げ、貢献できるプロジェクトに仕上げていくかが課題です。また、これらの成果物のターゲットをどのように決めていくかも大切になってきます。各々の Personal Project の経験を生かして、グループの仲間と協力しながら、意見を出し合い、自主的に取り組みを進めています。工夫を凝らしたプロジェクトになっていくことを期待しています。



それぞれ役割分担をしながら、成果物をどのように進めていくか、議論している様子。

5年生「探究の成果」

5年生担当：小澤 星

5年生も残すところあと2か月余りとなりました。様々な分野において、4月からの10カ月間の生徒の努力が実を結び始めているように感じます。最近の表彰だけでも3件ありますので、ご紹介いたします。

世界的課題の解決に数学の力で挑戦する「第7回日本数学 A-lympiad」では最優秀賞1チーム4名、優秀賞1チーム4名。地域のため、社会のため、誰かのためにボランティア・スピリットを発揮し、自ら行動を起こしている中学生・高校生を称える「第28回ボランティア・スピリット・アワード」では全国賞4名。全国の高校生を対象にした英文エッセイのコンテストである「第16回 IIBC 高校生英語エッセイコンテスト個人部門」では1名が最優秀賞を受賞しました。授業や課題、模試などがあり忙しい中でしたが、放課後や家庭での時間をうまく使いながら、自身の興味に基づいて探究を進めました。これから応募できる予定のコンテストもありますので、探究の成果発表として活用を促してまいります。



日本数学 A-lympiad の準備の様子

6年生「日々を大切に生きること、誰かにやさしくすること」

6年生担当：佐藤 美咲

新年あけましておめでとうございます。卒業まで残り1か月余りとなりました。新年最初の登校日は、冬休み中の頑張りが感じられる落ち着いた雰囲気でした。朝の全校集会では6年生から作文コンクール最優秀賞で1名表彰されました。その後の6年生への校長講話では、MOIS で学んだことを生かして「よりよい世界を築くことに貢献する人」になってほしいと激励の言葉がありました。9日（木）の学年集会では、自主研修期間の過ごし方や、卒業へ向けての心がまえを確認しました。各クラス担任からも校長講話と関連して、大学受験・進学だけがすべてではないことや、未来に向かって今何ができるかを問いかけ、エールを送りました。また16日（木）は大学入学共通テスト直前指導があり、20日（月）の自己採点の集計をもとに随時進路面談も実施しています。卒業も控え、お子様が自立し自走していくためにご家庭でもサポートをお願いします。最後に最優秀賞を受賞した作文から一部を紹介します。以下のように MOIS の精神は6年間で生徒にしっかりと宿っています。

（前略）私はこのとき、当たり前のことなど無いのだということを、本当の意味で知った。そして、何かが起こった時、周囲の人の力がいかに大きいのかということ、身をもって理解した。（中略）～「日々を大切に生きること」「誰かにやさしくすること」の二つを胸に、私は今日を生きている。



学年集会の様子



賞状授与の様子

作文コンクールのテーマは「私が心打たれた授業」で、論理国語の授業の一環で書いたものだそうです。受賞おめでとうございます！